

令和8年2月9日

泉大津市長 南出 賢一 様

泉大津市男女共同参画審議会
会長 岡崎 裕

第4次泉大津市男女共同参画推進計画の策定について（答申）

令和7年7月4日付け泉大人権第23号で諮問のあった第4次泉大津市男女共同参画推進計画の策定について、当審議会において慎重に審議した結果、別添「第4次泉大津市男女共同参画推進計画（素案）」をもって答申と致します。

なお、本計画の推進にあたっては、下記の事項に十分配慮され、計画の目指すべき姿である「性別にかかわらず、互いに尊重しあい、望む暮らし方を選択できるまち」の実現に向け、行政・市民・事業所などが一体となって取り組まれるよう要望します。

記

- 1 本計画を推進するにあたっては、数値目標の達成はもとより、その先にある市民一人ひとりの心身の健康と、生活の充実を実感できる「ウェルビーイング」の実現を大切にし、市民に寄り添った施策が展開されることを期待します。
- 2 計画に関わる様々な市民や地域の声を聴く姿勢を今後も大切にしつつ、「なぜその施策が必要なのか」「何のために行なうのか」という本質的な問いを常に持ち続けてください。
また、現状分析に基づいた「施策の選択と集中」を行って、実効性のある取り組みへと深化させていくことを願っています。
- 3 互いを尊重し、誰もが活躍できる社会を実現するためには、市民一人ひとりの意識変革が不可欠です。行政においても、あらゆる政策に多様な視点を取り入れるとともに、固定的な性別役割分担意識など、個人では解決が困難な構造的課題に取り組み、意識変容の促進と互いを支え合う社会風土の醸成に努めてください。
- 4 今後起こりうる急激な社会情勢の変化を見据え、想定外の事態にも柔軟に対応し、計画を最適化し続けられるような、しなやかで力強い推進体制の構築に努めてください。